

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(3月23日～3月29日)

2021年3月31日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- 北マケドニア、モンテネグロ、アルバニア、アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェーの6カ国、2月に決定されたEUによる対ベラルーシ制裁延長に合流。(3/24)
- ルカシェンコ大統領、メーゼンツェフ連合国家書記と会談。(3/26)
- ババリコ氏、新政党「一緒に」の創設の必要性を訴える声明を公表。(3/29)

【ルカシェンコ大統領動静】

●ミンスク州皮革生産協会を視察。

(3/23 大統領公式ホームページ)

●バイセンバエフ駐ベラルーシ・カザフスタン大使と会談。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・ユーラシア経済同盟を通じた更なる統合、そして貿易及び二国間協力において多くの成果を挙げた。新型コロナウイルスの影響で延期されてしまったが、貴国大統領が我が国に訪問できるようになることを願っている。同訪問は、二国間関係発展をさらに推進させていくであろう。

(3/25 大統領公式ホームページ)

●コジェミャコ露沿海地方知事と会談。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・貴知事は、ベラルーシが全ての協力分野における信頼に足るパートナーであるにご存じであろう。貴方の支援により、ロシアにおいて様々な共同案件を成功させることが出来た。貴知事は、アムール州知事として2009年、2011年、2013年、2014年に、そしてサハリン州知事として2015年に、また沿海地方知事として2019年、2020年にベラルーシに訪問された。

・極東ロシアは、ベラルーシにとって極東における昔からのそして有望なパートナーである。ウラジオストクは遠いが、我々にとって他人ではない。我々の祖国は、ブレストからウラジオストクまでである。

・沿海地方との貿易高は、2020年は下落したが、

2021年1月の数字を見ると、以前の協力水準を超えていると分かる。前回、2020年の会談以降、実務的な接触は増えており、2つの作業グループ会が出来た。ベラルーシ工業機械の極東ロシアでの販売台数は、2019年には91台であったが、2020年には177台となった。

(3/25 大統領公式ホームページ)

●ミンスク州執行委員会内務局長を解任。

(3/26 大統領公式ホームページ)

●メーゼンツェフ連合国家書記と会談。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・我々は極東ロシアを通じ、中国との協力における新たな方向性を開拓する必要がある。昨日コジェミャコ知事から、極東には多くの中国人が住んでいると聞いた。我々がその機会を使わない手はない。中国やアジア太平洋地域に我々の製品を売り込もう。

・今年、極東地方を訪問し、より具体的に議論を行う予定である。8月か秋口に訪問したい。

・また、ロシアの他の地方との協力も発展させていく必要がある。連合国家の枠組みにおいて地域間の協力により注意を割いていく必要がある。

・昨日、ベラルーシでは「意思の日」であったが、我々は抗議派に対し冷静に対応した。私は状況を分析しており、道を踏み外してしまった者は少なくないと考えている。しかし、全員が馬鹿なわけではない。彼らも、リトアニア、ポーランド、ウクライナに逃げた者たちがどのようなお金の流れで生きているか、理解している。

誰も、そこで約束したように、単に 53 百万ドル(原文ママ)を渡すことはない。何かを与えたが、国外にいる抗議派には足りていないであろう。しかし、国外抗議派は、全員、国内抗議派が通りに殺到してルカシェンコ政権をぐらつかせるよう要求している。

・「意思の日」前日、抗議派は、政府が挑発を用意し、何か爆発しようとしている、と警告を出していた。その警告は私を警戒させたが、我々には経験がある。そのような警告が出た以上、徹底的に調査した。カルペンコフ内務次官、警察部隊がゴミ集積場にて爆発物を発見し処理をした。現在は国家安全保障委員会の下にある。しかし、この行為は、テロである。もし、爆発していたら、多くの被害が出ていたであろう。そして、抗議派は、誰のせいにしていたであろうか。抗議派は、様々な形で我々を揺さぶろうとしている。

(3/26 大統領公式ホームページ)

●ピニエヴィチ保健大臣と会談。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・自国製ワクチンは、グサコフ国立科学アカデミー会長、貴大臣、保健省、国立科学アカデミーの問題でもある。最短期間で、最良のワクチンを開発してほしい。
- ・来年自国製ワクチンが出来ると合意したが、その前に、第一段階として国民の60%にワクチン接種が完了しているようにしたい。ベラルーシでは、ワクチンを巡る不安や騒ぎはない。穏やかに進んでいる。医師、教師、貿易従事者等、業務上接触を避け得ない者にロシア製、中国製のワクチンを接種している。
- ・ベラルーシの新型コロナ感染状況は悪くない。人工呼吸器の在庫は 2500 人分とされるが、人工呼吸器治療が必要となる患者数は 240 名~280 名であり、稼働率は8~9%程度に収まっている。肺炎患者数の予測には関心を持っている。

(3/26 大統領公式ホームページ)

●国内社会・政治情勢に関する会議に出席。

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・何度も伝えている通り、我々に平穏な生活はない。様々な方法で、とりわけ、外から、情勢を緊迫化させ

ようという動きがある。

・海外にいる指揮者が変わったことをお気づきであろう。以前ミンスクで抗議運動参加者を率いていた幾つかのチャンネルは既に辞めている。他方で、ByPOLのような過激なチャンネルが出始めた。

・爆発物を持ち運んだ者、準備をした者、ゴミ集積所で爆発させようとした者等、武器を手取る者には厳格に対応する必要がある。

(3/29 大統領公式ホームページ)

【外交】

●マケイ外務大臣、シヨレ米國務省顧問と電話会談し、国民との対話、政治犯の釈放、両国大使の任命と着任について協議。

(3/23 ベラパン通信)

●ベラルーシ外務省、国連人権理事会会合におけるベラルーシ人権状況決議採択に関するグラス報道官発言を公式ホームページに掲載。

発言要旨は以下の通り。

- ・国連の原則や国際法のルール、論理や常識にさえ反して、多数ではなく少数によって、手続き上の規則に違反して国連人権理事会決議が採択された。とても民主的だ、と言えるだろう。
- ・僅か1週間前、人権理事会は、ベラルーシにおける人権分野の一般定期的レビューに関する作業グループの報告を承認したのだ。レビュー時に大半の加盟国が、強調するが、理事会を構成する大半の加盟国が、人権分野におけるベラルーシの取り組みを肯定的に評価したのである。
- ・今日、我々は、正反対の方向への転換を目にしている。なんと一貫していることか。我々は、ロジックを見つけようと努めている。
- ・おそらく我々は、決議を発案し、その採択を働きかけた EU の演じる「ベラルーシを批判する」という題の茶番劇を再び目にしたのだ。
- ・この悪名高い決議は、国連予算に1年間で 250 万(2,562,900)米ドルをかけることになる。国連はこの資金を他に使う道はなかったのか。例えば、ワクチンや

パンデミックと闘う発展途上国支援に。

・我々は、このような見せしめを避けることができるはずだ。新しい国連人権理事会の決議という形のEUの「願望リスト」は、ベラルーシ人権問題に関する国連特別報告者のマンデートと同じく、その持ち主にしか必要でない運命であろう。

(3/24 ベラルーシ外務省公式ホームページ)

●北マケドニア、モンテネグロ、アルバニア、アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェーの6カ国、2月に決定されたEUによる対ベラルーシ制裁延長に合流。

(3/24 ベラパン通信)

●露モスクワにて、露・ベラルーシ両国防軍代表者が会談し、両国間情報通信連携に関する協議を実施。

(3/25 ベラパン通信)

●在ベラルーシ・米大使館、意思の日に向けた声明を公表。

声明の概要は以下の通り。

・数千人ものベラルーシ国民が自国の運命を決める権利を要求している。

・多くの方が、自身の声が聞こえるようにする試みのために多くの犠牲を払っている。政権は、政権維持のために脅し、暴力、殺傷能力のある武器を使用している。

・米国は、ベラルーシ国民に意思の日のお祝いをするとともに、ベラルーシ国民が自立して自身の未来を決められるようになることを待っている。

(3/25 ベラパン通信)

●ベラルーシ外務省、米大使館の意思の日に向けた声明に対し、コメントを公表。

公表の概要は以下の通り。

・双方の美辞麗句を生産的な方向に向けて頂き、また我が国の歴史において重要な日に関する祝意表明に感謝する。

・(南北戦争で合衆国に敗れた)アメリカ連合国の憲法採択160周年に関する祝意表明を失念しており、

お詫び申し上げます。また、BLM運動に参加する者は、数千万人の上ると言われており、残念ながら米国社会は、深く砕かれています。

・我々も、米国民のよりよい未来に向けた志向を支持している。真に包括的な対話は、米国民がさらに団結することを助けてくれるであろう。我々は、国際機構を巻き込むことも含め、可能な限りの支援を行う。最近米国で起きていることは、米国の独立獲得から2世紀以上経過しているにもかかわらず、米国民の自由を求めた闘いは未だ続いていることを示している。

(3/26 ベラパン通信)

【経済】

●オストロヴェツ原発第二エネルギーブロックの原子炉組み立て作業完工。

(3/23 ベラパン通信)

●2月、ベラルーシ国内平均月給は1277.1ルーブルと二ヶ月連続の減少。

(3/24 ベラパン通信)

●2月、公務員給与、1月対比1.3%減少の1085.2ルーブル。

(3/25 ベラパン通信)

●1月、赤字企業数、11.3%増の493社。

(3/26 ベラパン通信)

●1月、ベラルーシとEU間貿易高、昨年1月対比、約30%増の956.8百万ドル。

(3/26 ベラパン通信)

【内政】

●ピニェビチ保健大臣、「ベラルーシの保健システムは、新型コロナ第三波に向けた準備が出来ている」と公表。

(3/23 ベラパン通信)

●グロドノにおいて、ベラルーシのポーランド人少数

者団体 Union of Poles in Belarus (ZPB) のアンジェリ
カ・ボリス代表を逮捕、15 日間の実刑を判決。

(3/24 ベラパン通信)

●内務省、テロ活動の準備により ByPOL を非難。

(3/26 ベラパン通信)

【抗議の動き】

●「意思の日」に局地的な抗議運動が発生し、200 名
超が逮捕。

(3/25 ベラパン通信)

●27 日、局地的に無許可集会が開催され、約 100 名
が逮捕。

(3/27 ベラパン通信)

●ババリコ氏、新政党「一緒に」の創設の必要性を訴
える声明を公表。

(3/29 ベラパン通信)

(了)